



円滑な承継のための、 様々なサポートがあります！

1 事業承継について気軽に相談できる窓口

市では、各種支援機関と連携し、「後継者がいない」「誰に相談すればよいのか」といった経営者のみなさんの悩みを解決するサポートを行っています。どんな些細なことでも、まずはご相談ください。

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターをご利用ください

国が設置している公的相談窓口です。親族承継から第三者承継まで、中小企業のあらゆる事業承継に関するサポートを無料で行っていきます。お気軽にご利用ください。

- ✓ 各種支援制度活用に関するアドバイス
- ✓ 事業承継を支援する専門家の紹介
- ✓ 事業承継に向けた経営課題の把握や経営改善に向けたアドバイス
- ✓ 創業希望者と後継者がいない事業者の引き合わせ



◎静岡県事業承継・引継ぎ支援センター
☎054-275-1881

詳細はこちら



ここでも相談できます！
あなたの身近な支援機関

商工会、商工会議所、各種金融機関で相談できます

親族承継、従業員承継を中心に無料でサポートしています。

- ✓ 事業承継に係る準備を行うための面接を実施
- ✓ 専門家を派遣してアドバイスを行い、円滑な事業承継のための計画策定をバックアップ

◎最寄りの商工会、商工会議所、各種金融機関にご連絡ください

2 税制措置や補助制度

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターなどを通じ税制措置や補助制度などを活用することで、承継時に必要な資金の負担を軽減するだけでなく、承継後の経営のサポートを受けることができます。

なるべく
後継者の負担を
軽くしたい



事業承継税制

国による、後継者が事業を引き継ぐ(相続する)際に発生する贈与税などの支払いの猶予を受けることができる税制措置です。

制度融資

各種金融機関による事業承継に必要な資金を融資する制度です。

補助制度

国による、事業承継後の設備投資や販路開拓、設備廃棄費用等を支援します。

会社の未来、まちの未来を みんなで考えてみよう

中小企業はみなさんの暮らしを支える重要な存在です。しかし、人口減少を背景に、黒字の業績ながらも後継者不足から廃業を考えなければならぬ企業も存在しています。こうした企業も含め多くの中小企業が円滑に事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを確実に引き継ぐとともに、雇用を確保し、地域経済の活性化にも貢献します。

事業承継というと、親族承継や従業員承継をイメージする人が多いかもしれませんが、第三者承継による件数も増えてきています。第三者承継と一口に言っても、株式譲渡や起業を希望する人と経営者とのマッチングによる承継など、そのパターンは多岐にわたります。企業によって状況は異なりますが、早めに事業承継の準備を進めることで、みなさんの企業にピッタリのパターンが見つかることが期待できます。今回の特集を機に、経営者だけでなく、その家族や従業員のみならず、事業承継について考えてみませんか。地元企業の活力は、まちの元気に繋がります。

◎産業戦略推進室
☎055・934・4744

承継
ケース2

第三者承継

有限会社杉山車体工業
経営者：杉山隆治さん
後継者：内田秀昭さん



「この人に継いでもらいたい」と
出会ったその日に思いました。

会社の未来を繋ぐ出会い

有限会社杉山車体工業では、国産車から外国車まで自動車全般の板金塗装を行っています。令和3年に第三者承継により前社長の杉山隆治さんから、当時大手自動車メーカーに勤務していた現社長の内田秀昭さんに事業承継を完了。第三者承継に至った経緯などを二人にお伺いしました。

後継者に悩んでいた杉山さんは、税理士に相談したことで第三者承継を知り、静岡県事業承継・引継ぎ支援センターからの紹介を経て、後継者人材バンクに登録していた内田さんとのマッチングに繋がりました。「第三者に引き継ぐなんて目から鱗でした。熱意ある人と出会えて本当に良かったです」と杉山さんは笑っています。

マッチングした際、期待と共に不安も抱いていた内田さんは「内情を知らない会社を背負うことに抵抗もありましたが、丁寧な説明や『自社の技術で

承継までのプロセス

2020年9月
杉山さんが税理士に相談

2020年10月
静岡県事業承継・引継ぎ支援センターを介して杉山さんと内田さんがマッチング

2020年11月
承継時期の決定、事業計画の策定など

2021年8月 承継完了

事業承継後
静岡県事業承継・引継ぎ支援センターによるアフターフォロー

もつと地域に貢献したい」という杉山さんの想いを聞いて、そんな不安はなくなり「ましたよ」と語ってくれました。まずは専門家に相談することから技術や取引先からの理解など、承継に関する不安を少しでも減らすため、杉山さんは代表の座を退いてからも一年間は従業員として働いていたそう。「二年を通して私が仕事をしやすい環境を整えてもらえてとても助かりました」と内田さんは当時を振り返ります。承継について検討する際に専門家に相談したことが、丁寧な引き継ぎや、今も継続して地域に根ざして事業を行っていることに繋がっています。「事業承継は専門的な知識が必要ですし、会社の状況によって引き継ぎ方は様々です。会社の未来について考えるときは一人で悩むのではなく、身近な専門家に相談することが大切だと思います」と杉山さんは自身の経験をもとに話してくれました。